

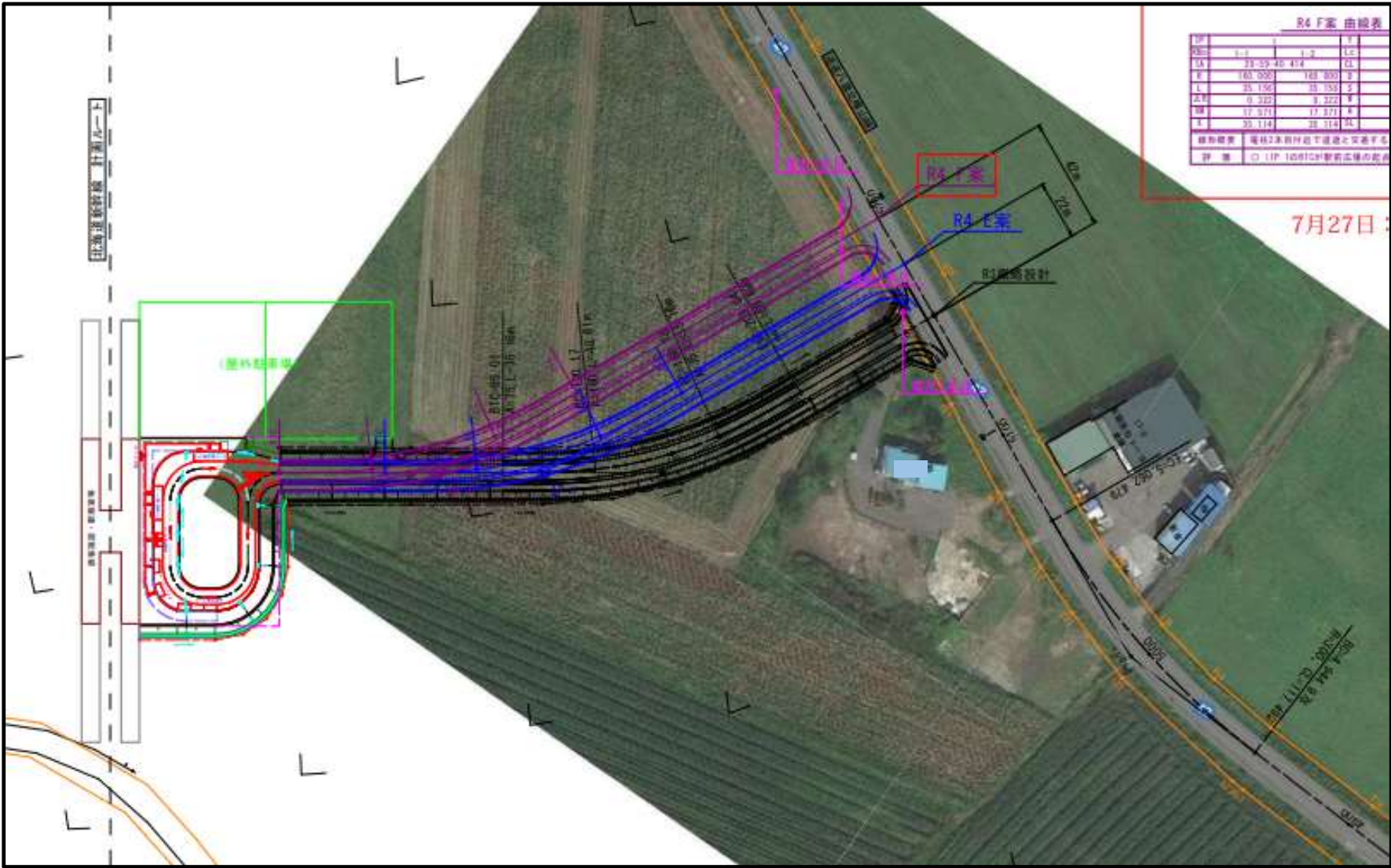
これまでの決定方針等について

1. 北海道新幹線新八雲（仮称）駅周辺整備推進会議開催概要

• 令和4年度第1回推進会議は、主に下記の内容について、確認・方針決定をした。

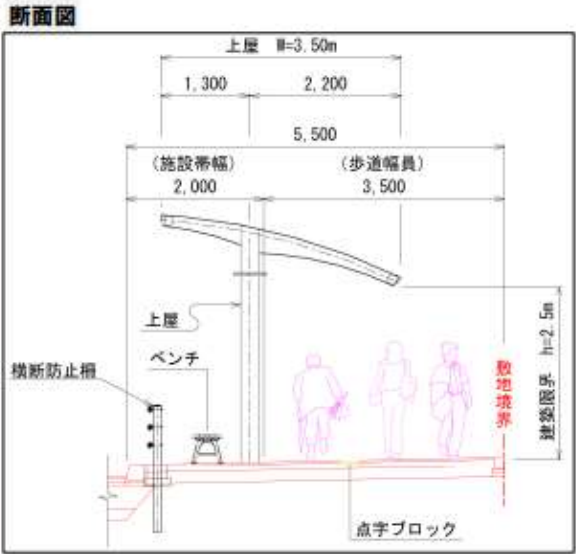
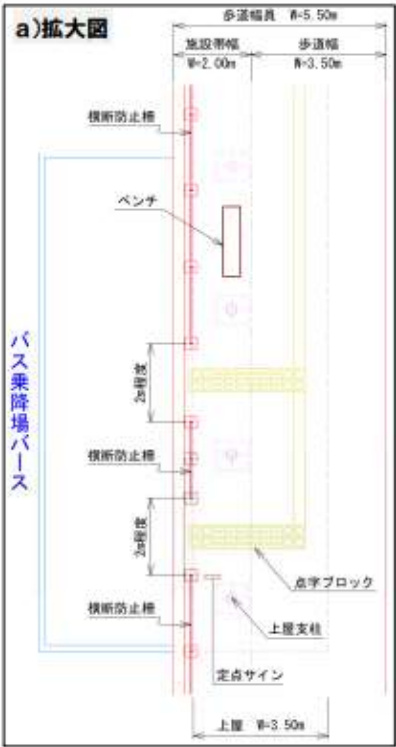
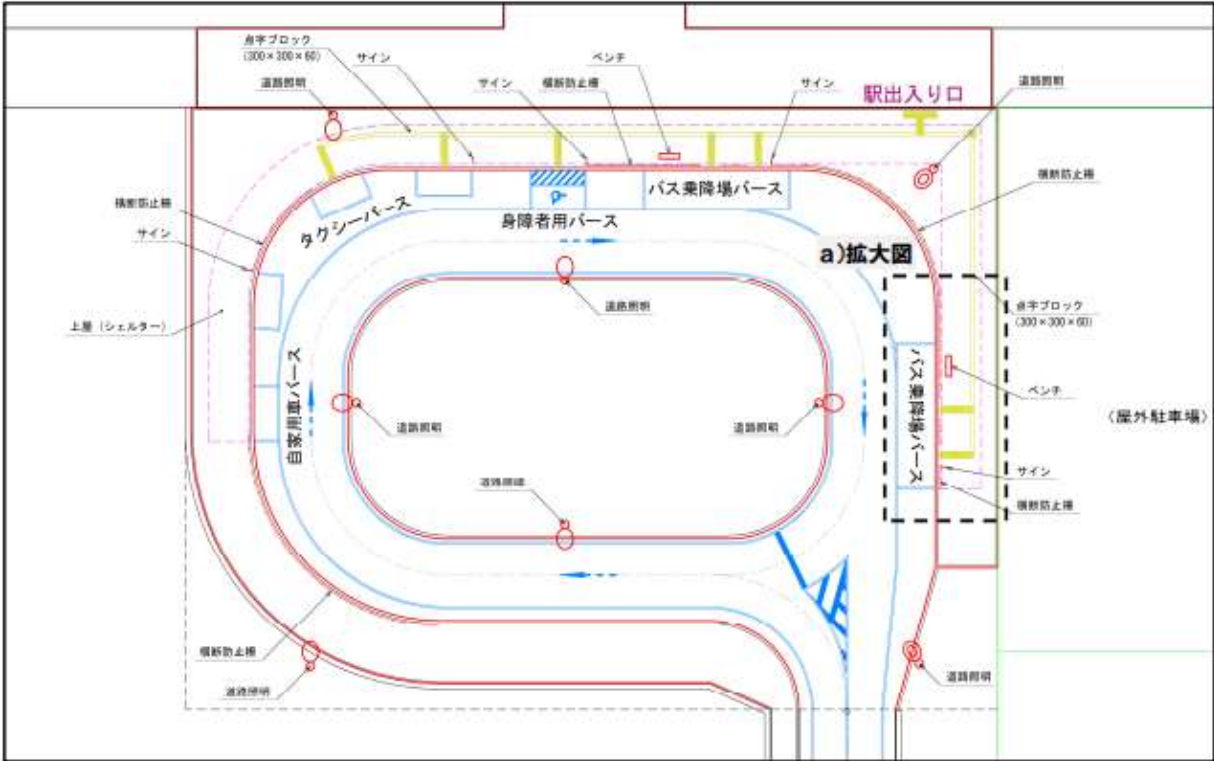
推進会議	時期	主な議題
令和4年度第1回 (通算第5回)	令和4年5月19日	①アクセス道路&駅前ロータリーについて ②ロータリー内の整備内容について ③ロータリーから町道音名川沿線接続道路について ④防音壁透明化について ⑤高架下及び西側通路について

①アクセス道路（道道認定済）の線形について



※北海道提供資料を一部加工したもの

①駅前ロータリーについて



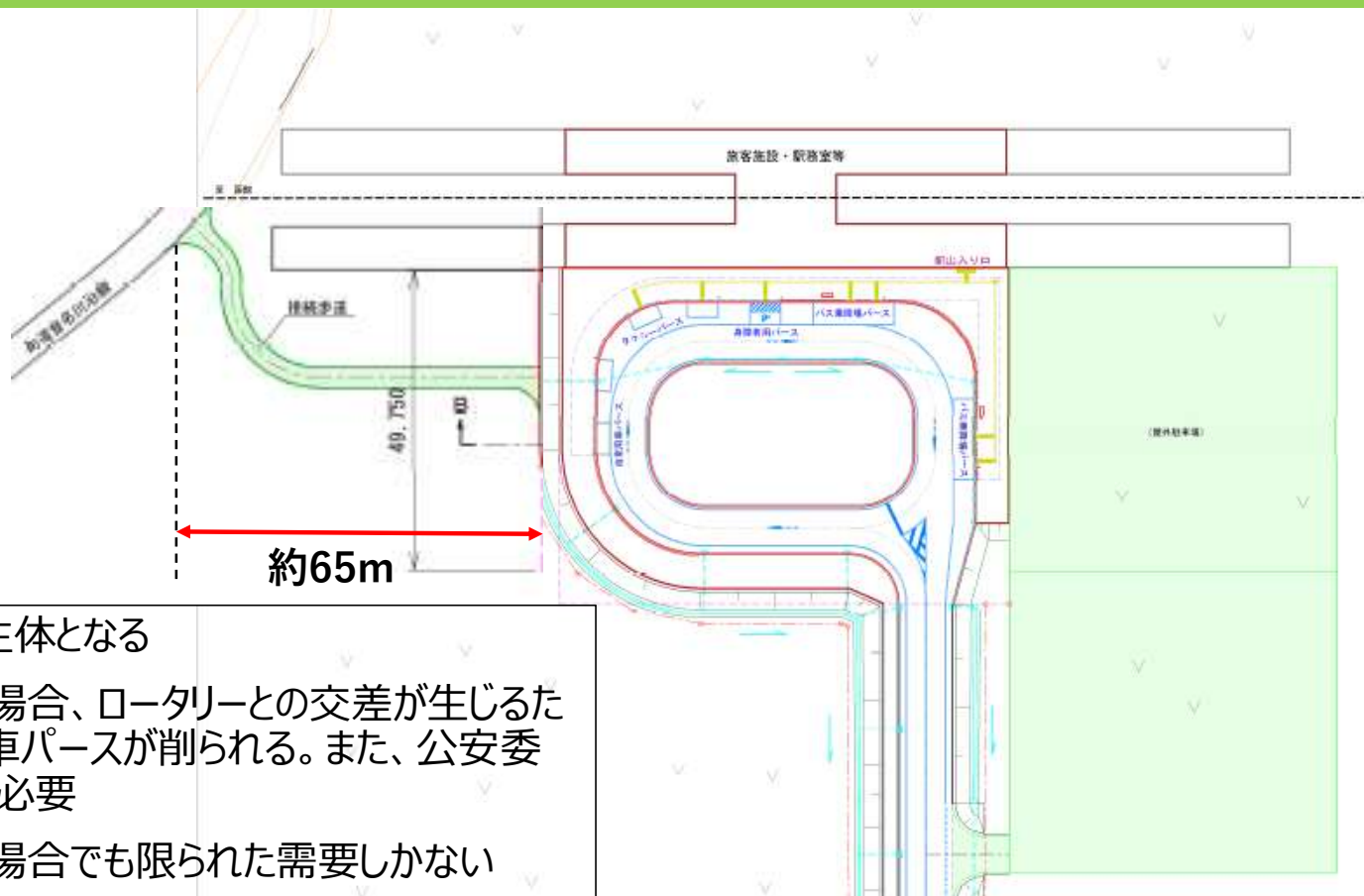
※北海道提供資料を一部加工したもの

②ロータリー内の整備について



- ・ロータリー内に短期駐車場を整備することについて道公安委員会が難色を示している
 - ・八雲町が計画を有する場合
整備は町（土地所有者、維持管理も町）
 - ・八雲町が計画を有しない場合
北海道が検討（雪捨て場等に活用か）
- ➡町として整備しない方針**

③町道音名川沿線へ接続する道路の整備について



- ・町が整備主体となる
 - ・車道とした場合、ロータリーとの交差が生じるため、自家用車パースが削られる。また、公安委員会協議が必要
 - ・歩道とした場合でも限られた需要しかない
- 一部委員より「必要」との意見有**
- ➡駅舎やロータリー、駐車場が出来てから改めて整備の必要性を検討**

④防音壁の設置について

(1) 期待される透明板化の効果

新幹線からの眺望	・車両からの景観向上 ・地域の象徴アピール（牧場・駒ヶ岳・噴火湾・羊蹄山・アンヌプリ）
新幹線の見え方	・新幹線のシンボル性の向上



コンクリート製防音壁



ポリカーボネート製防音壁

実施例
180m透明化
自治体負担7,014万円



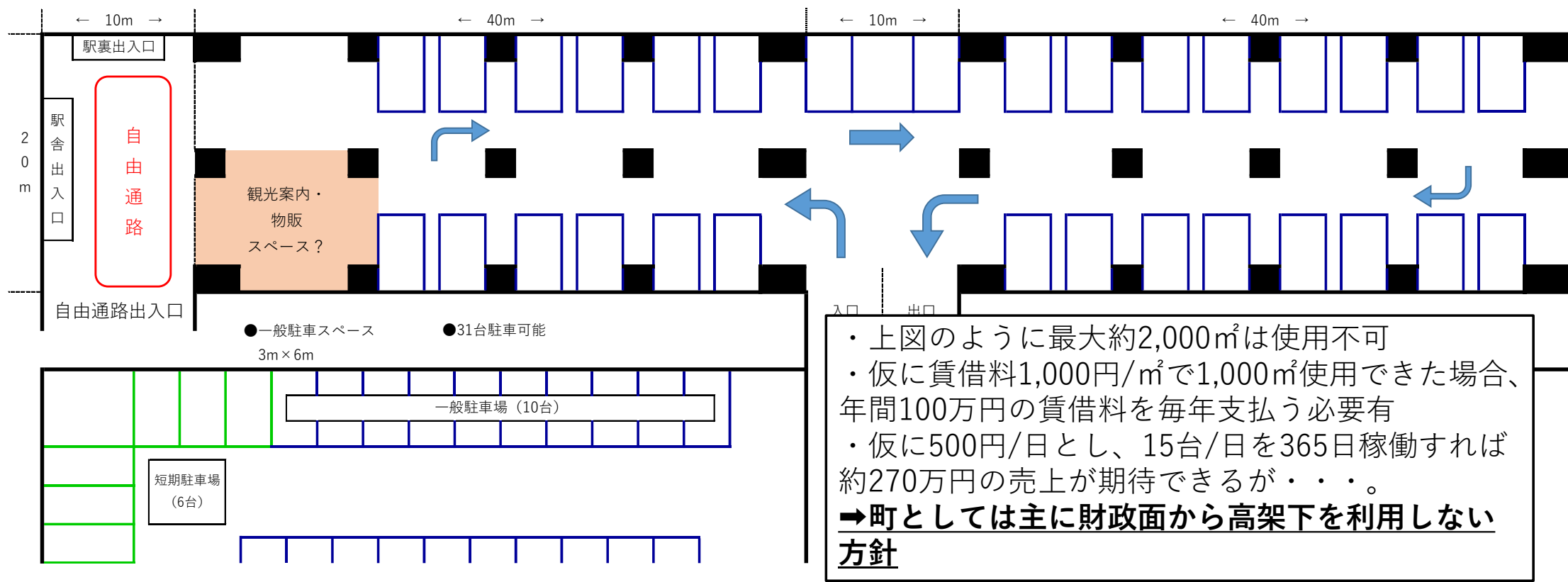
高架橋外観

・ 駅舎部分を除く明かり区間約5kmを全て透明化した場合、 $7,014\text{万円}/180\text{m} \times 5,000\text{m} = 194,833\text{万円}$
約19.5億円を町で負担することとなる
・ さらに更新費用等についても町での負担
・ 投資効果を考えても町で負担することは極めて困難
→町としては、防音壁の透明化はしない方針

※機構提供資料に一部追記

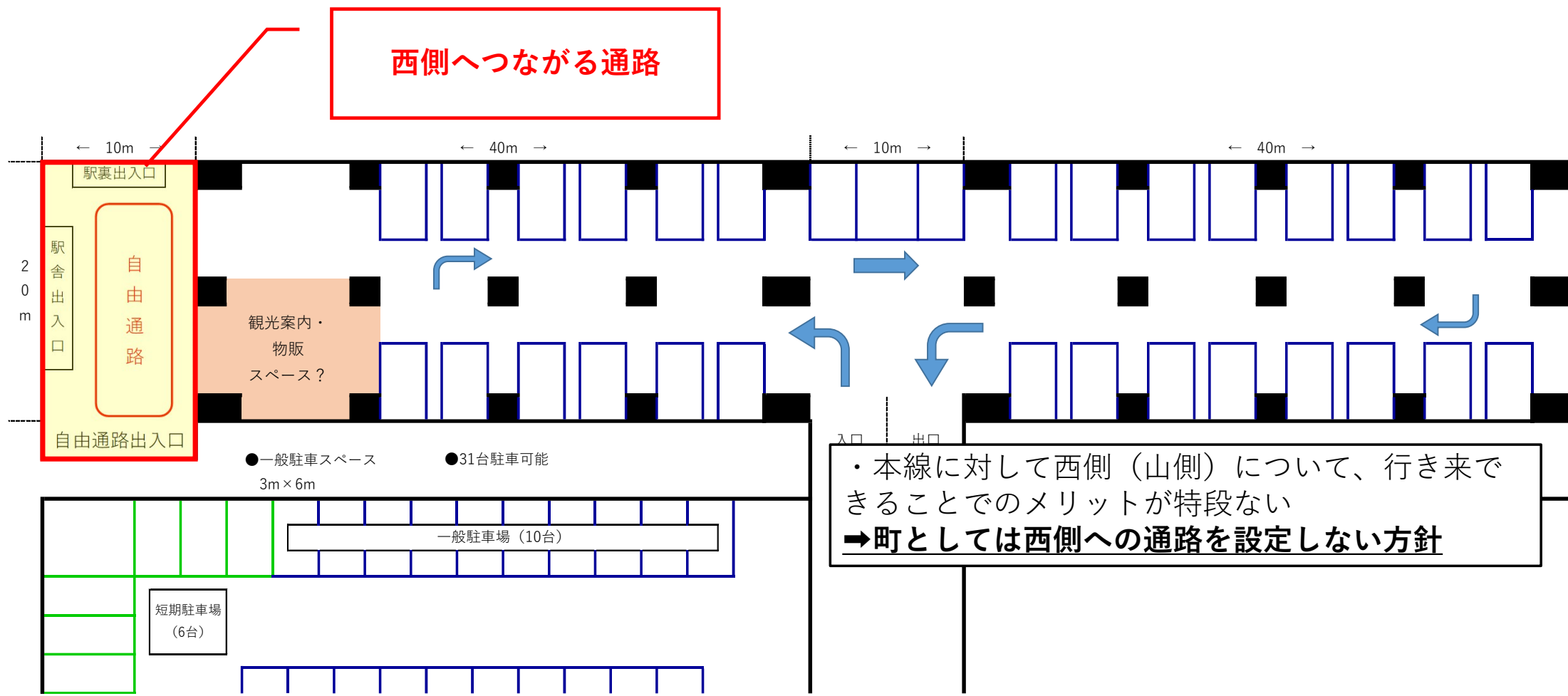
⑤高架下利活用例

高架下の利用については、鉄道運輸機構、JR北海道との協議が必要



※高架構造駅整備を前提に作成
※高架下利用を検討するための資料であり、各々の規模や位置等が確定したものではありません

⑤西側通路について



※高架構造駅整備を前提に作成
※高架下利用を検討するための資料であり、各々の規模や位置等が確定したものではありません